

# Biz/Designer DT

## 開発スタートアップガイド

株式会社オープンストリーム

## 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 事前準備.....                    | 3  |
| 2. Biz/Designer DT の起動.....     | 3  |
| 3. プロジェクトの作成.....               | 3  |
| 4. フォームの作成.....                 | 5  |
| 5. オブジェクト（テキストボックスとボタン）の配置..... | 6  |
| 6. プロパティの設定.....                | 8  |
| 7. イベントハンドラの設定.....             | 10 |
| 8. CRS ファイルの保存.....             | 12 |
| 9. デバッグ開始（テスト実行）.....           | 13 |

## 1. 事前準備

本開発スタートアップガイドは、Biz/Designer DT をインストールして IDE ライセンス登録済みの状態を前提に説明しております。

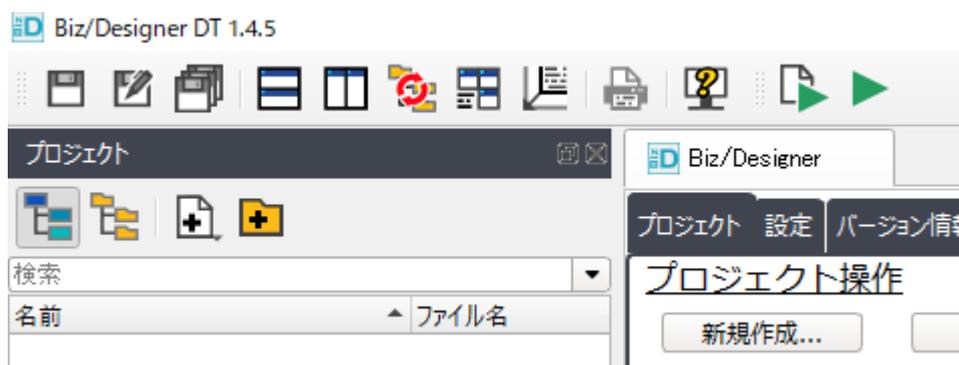
まだ、Biz/Designer DT をインストールされていない場合は「Biz/Designer DT インストールガイド」を参考に Biz/Designer DT をインストールして IDE ライセンスを登録してください。

## 2. Biz/Designer DT の起動

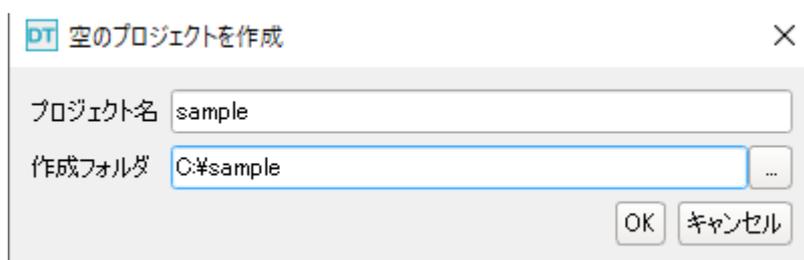
スタートメニュー（Windows 8、Windows 11 の場合は「全てのアプリ」画面）から Biz/Designer DT を起動します。

## 3. プロジェクトの作成

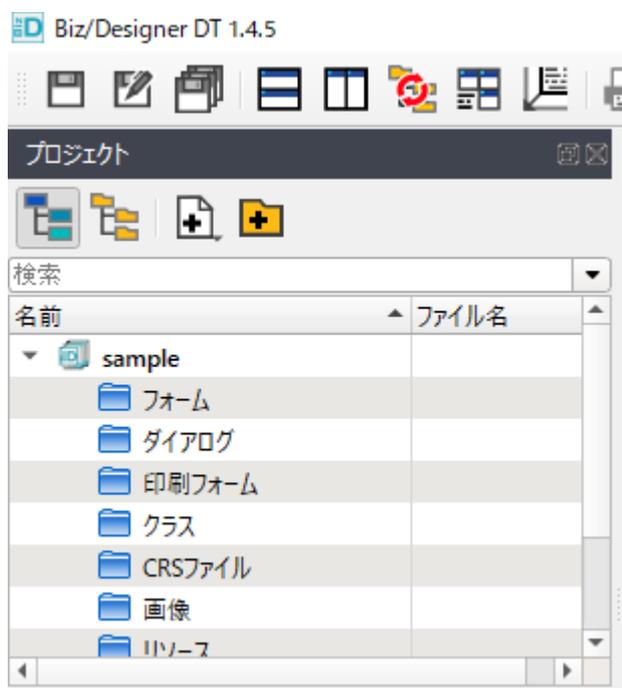
プロジェクト操作の「新規作成」ボタンを押下してください。



作成フォルダを選択してプロジェクト名「sample」（任意）を入力して「OK」ボタンを押下してください。

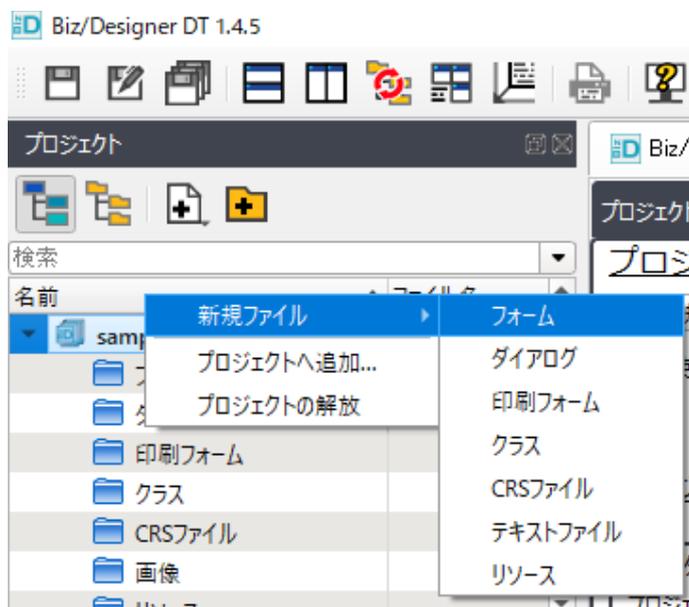


新規作成されたプロジェクトがオブジェクトビューに追加されます。

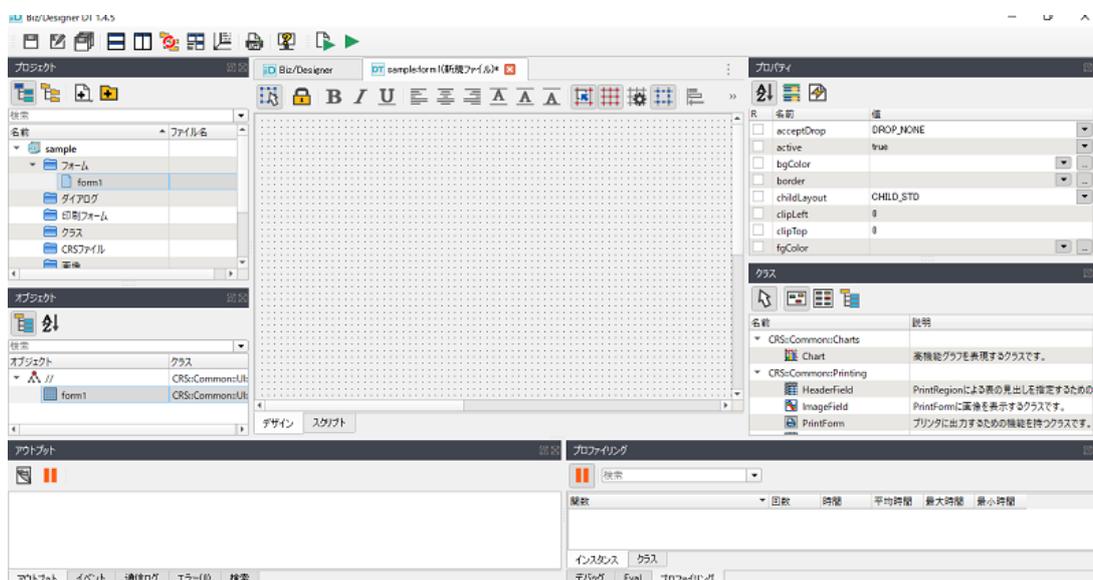


## 4. フォームの作成

プロジェクトビューのフォームを右クリックします。ポップアップしたメニューから「新規ファイル」>「フォーム」をクリックします。

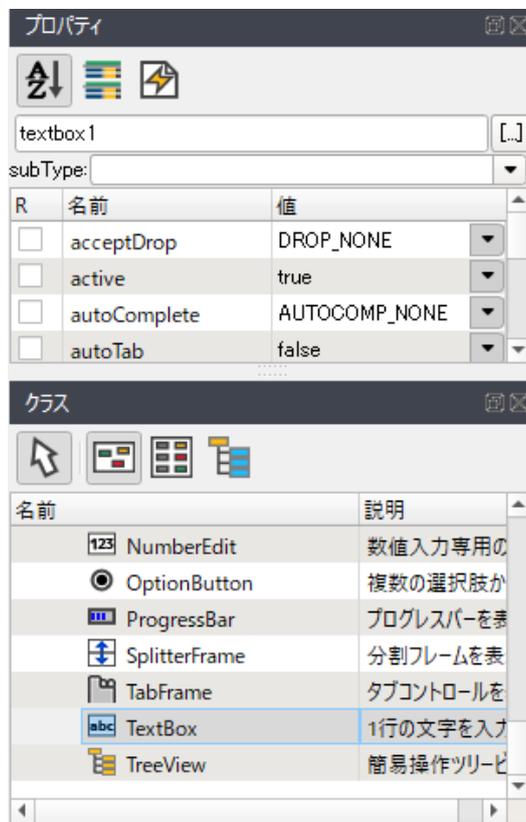


新規作成されたフォームがデザインビューに表示されます。このフォームが Biz/Browser のアプリケーションの画面となります。フォームにテキストボックスやボタンなど表示したいオブジェクトを配置していきます。

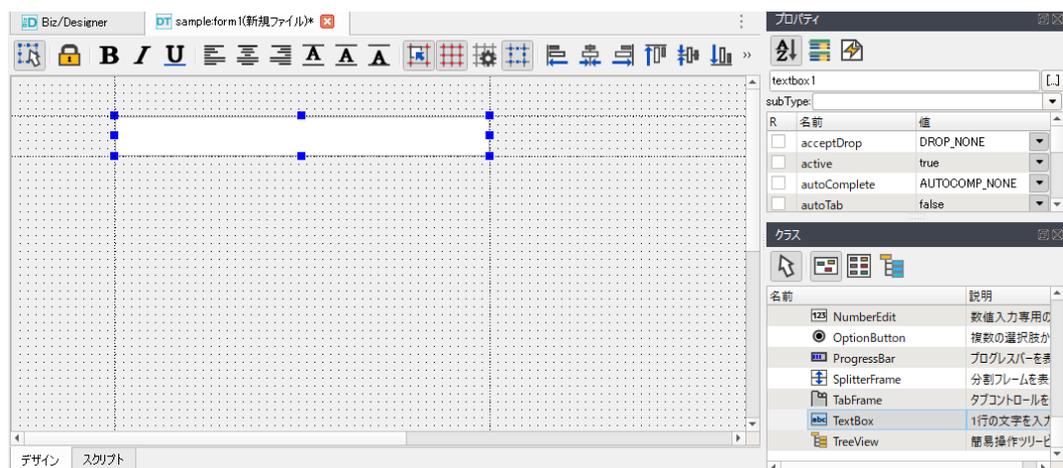


## 5. オブジェクト（テキストボックスとボタン）の配置

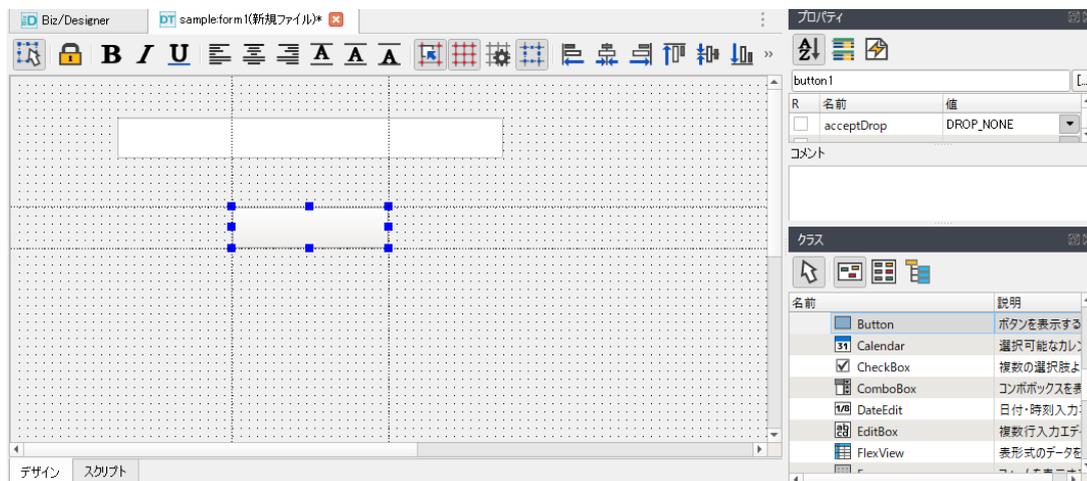
クラスビューから TextBox を選択します。



マウスのカーソルをフォーム上に移動します。フォーム上でクリックしてドラッグすると、テキストボックスが配置されます。

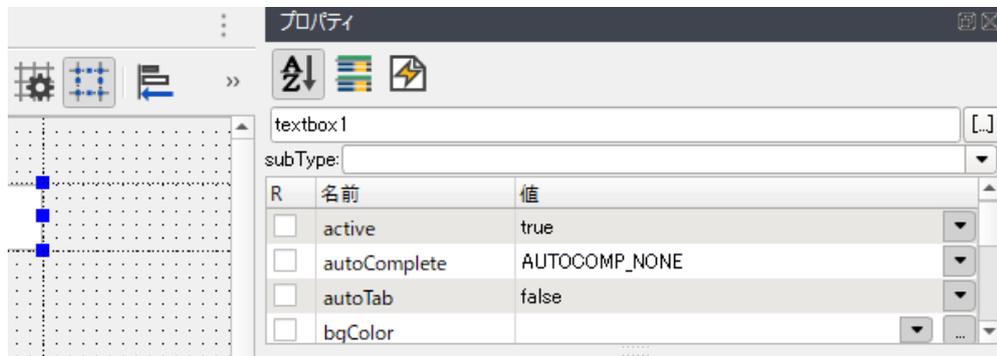


テキストボックスと同様にクラスビューから Button を選択して、フォームに配置します。

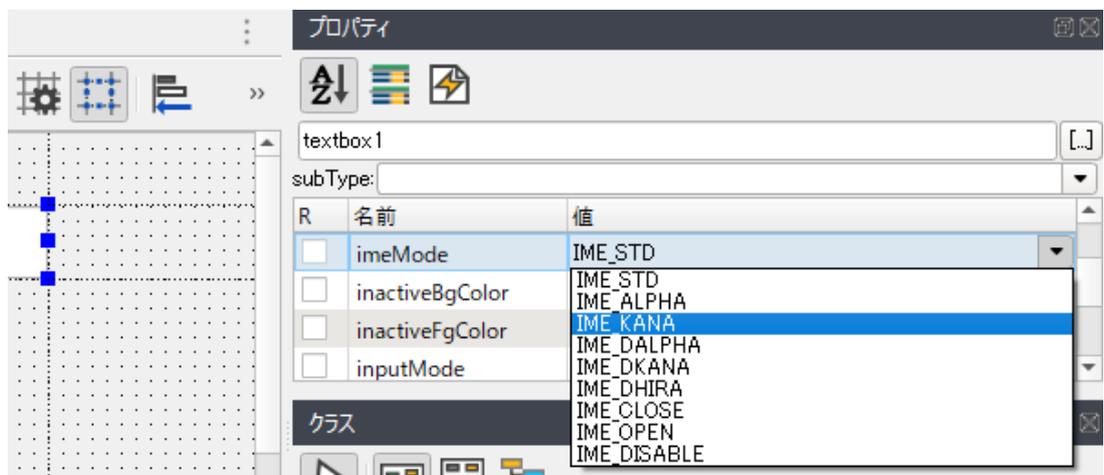


## 6. プロパティの設定

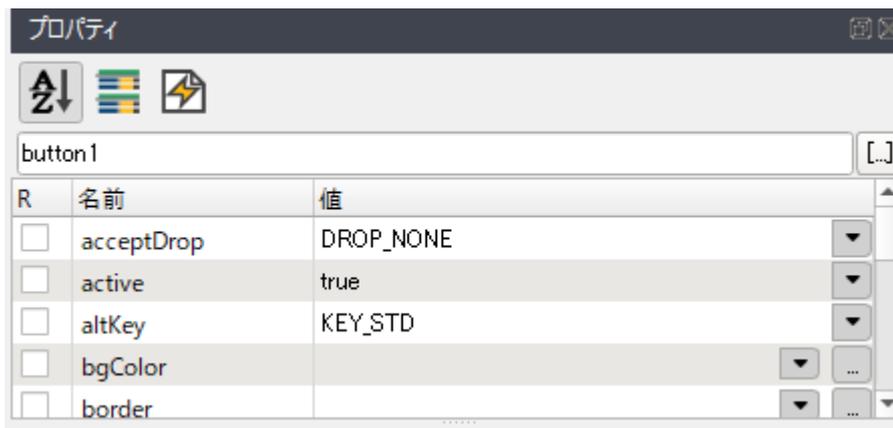
デザインビュー上で TextBox を選択してプロパティビューを表示します。



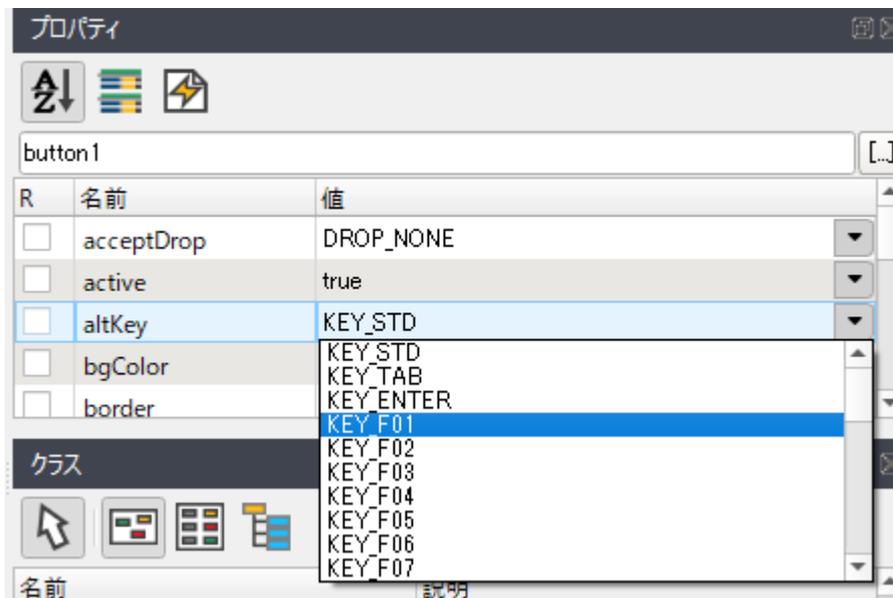
配置したテキストボックスの文字入力を補助するために IME モードを指定します。  
imeMode プロパティの値に「IME\_KANA」を指定します。



デザインビュー上で Button を選択してプロパティビューを表示します。

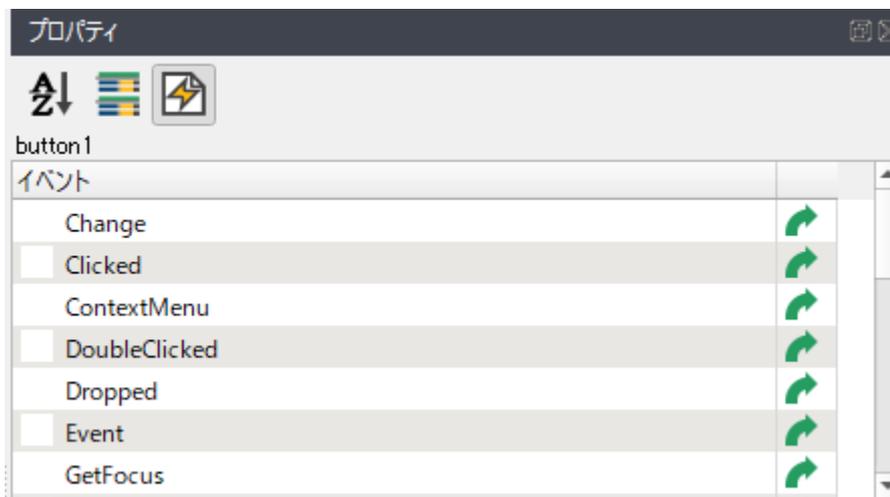


配置したボタンにキーボードの F1 キーを代替キーとして指定します。  
altKey プロパティの値に「KEY\_F01」を指定します。

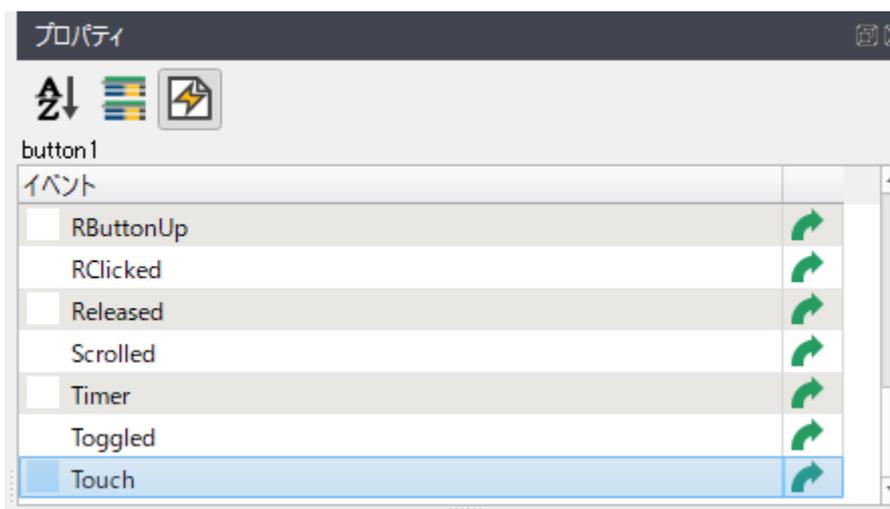


## 7. イベントハンドラの設定

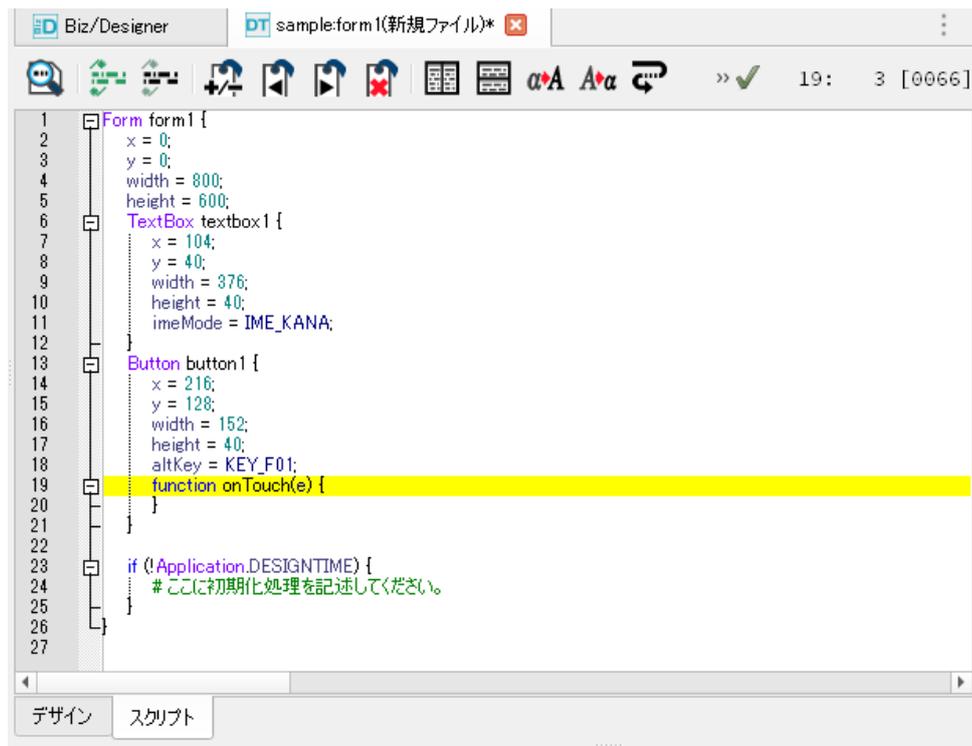
デザインビュー上で Button を選択してプロパティビューのイベントアイコンをクリックしてイベントの一覧を表示します。



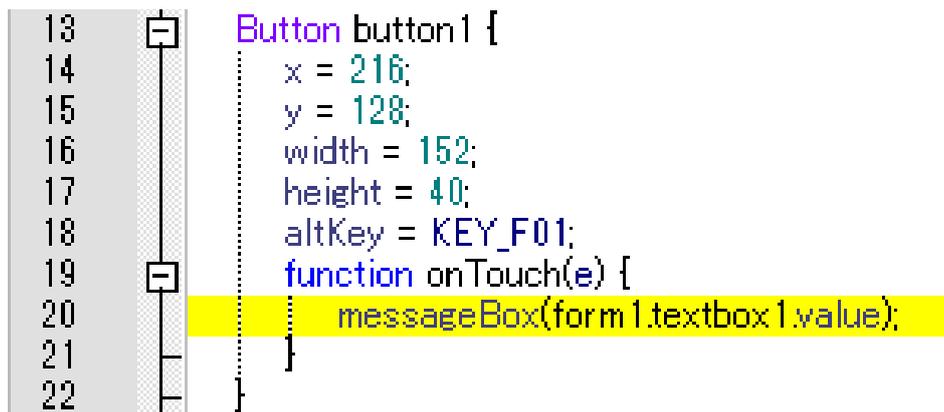
配置したボタンを押下した際に発生する Touch イベントのイベントハンドラを設定します。イベントの一覧の Touch イベントの「緑の矢印」ボタンを押下します。



デザインビューがスクリプトビューに切り替わり、イベントハンドラ (Function onTouch (e) {}) が追加されます。

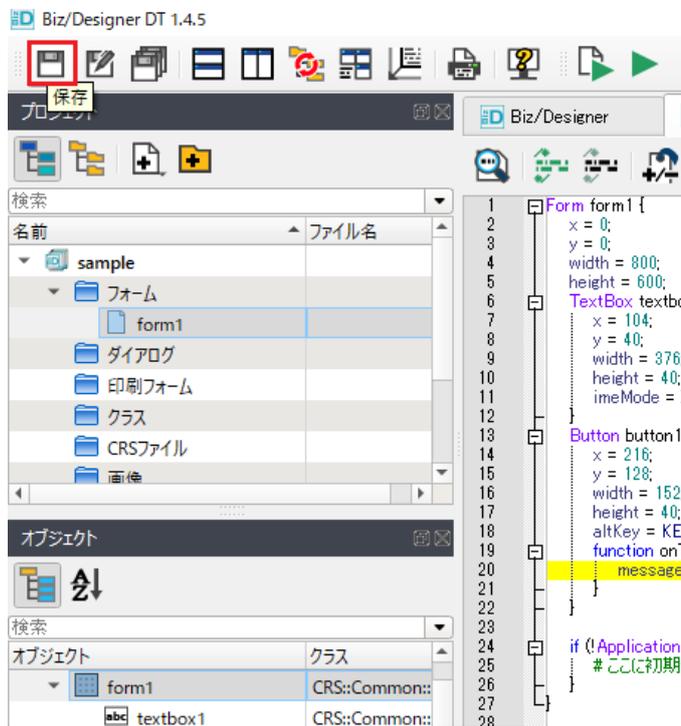


追加されたイベントハンドラに、テキストボックスに入力された値をメッセージボックスで表示する処理を記述します。



## 8. CRS ファイルの保存

作成したフォームを CRS ファイルとして保存します。保存アイコン（画面左上のフロッピーのアイコン）を押下して、保存ダイアログを表示します。

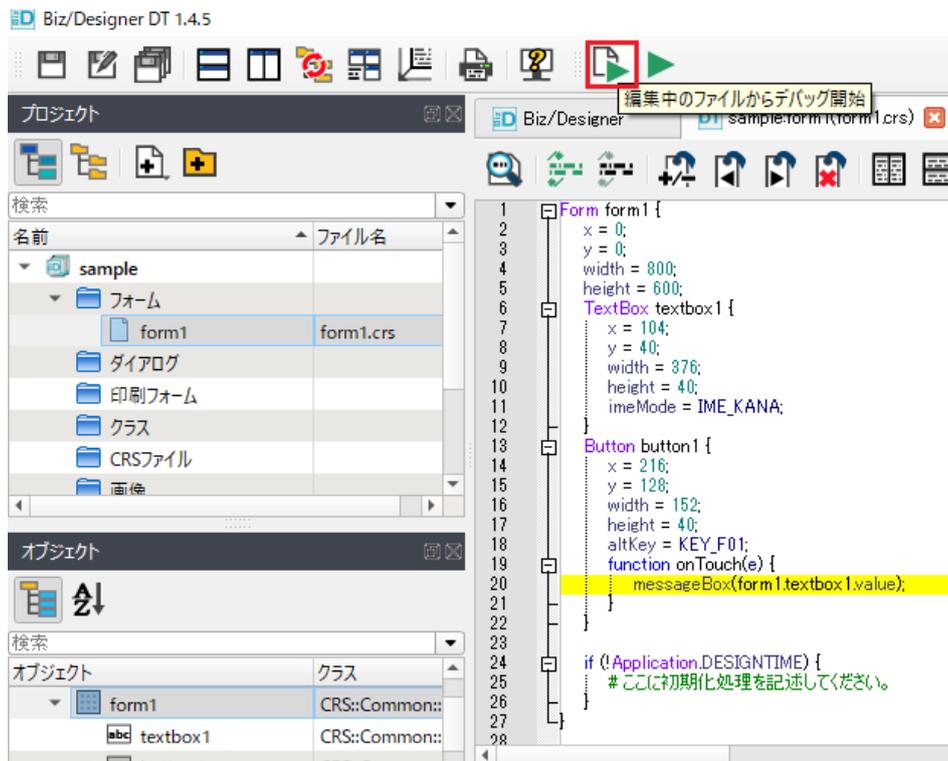


ファイル名「form1.crs」（任意）を入力して保存ボタンを押下します。

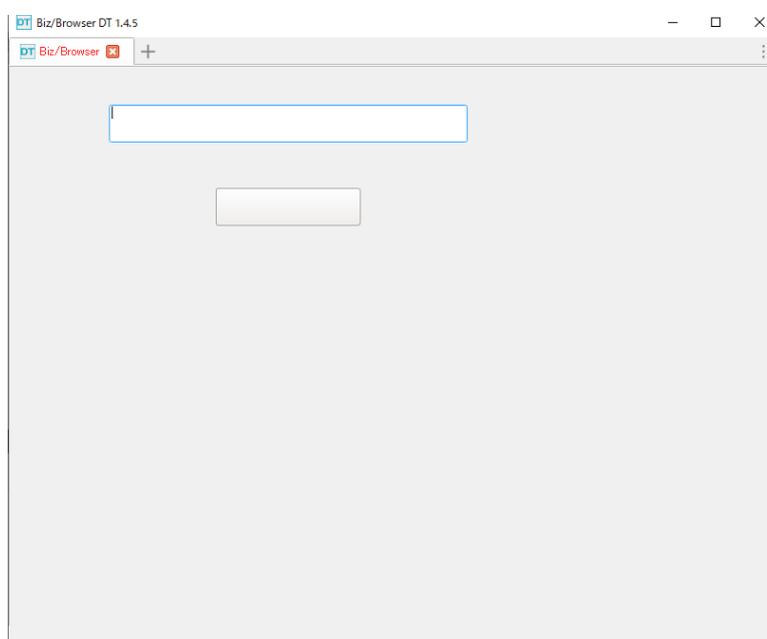


## 9. デバッグ開始（テスト実行）

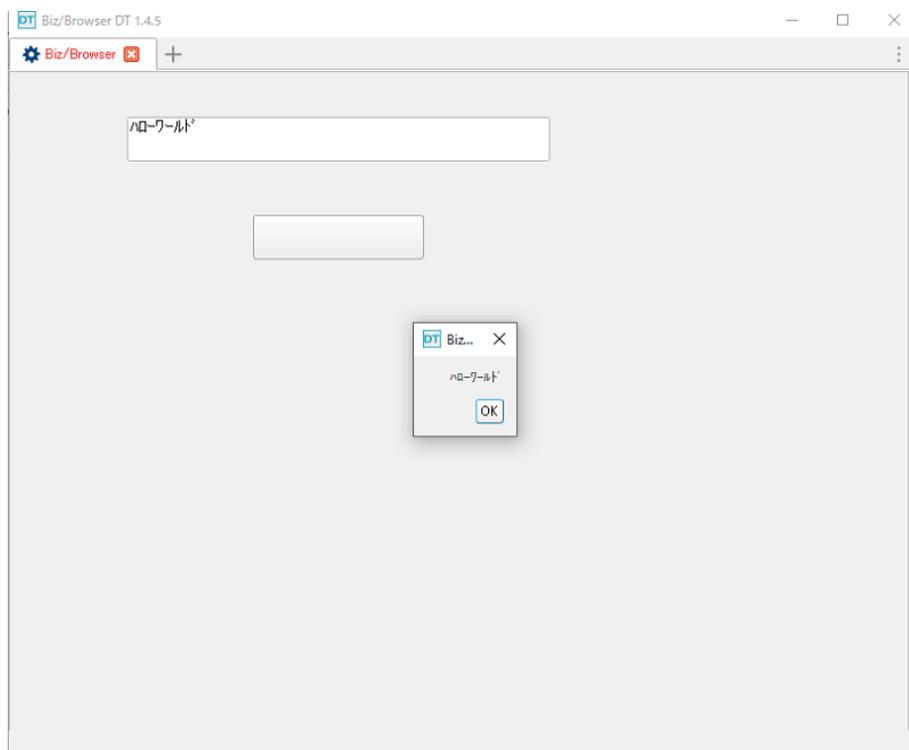
編集中のファイルからデバッグ開始アイコンを押下します。



Biz/Browser DT が起動して編集中の CRS ファイルからデバッグを開始します。



テキストボックスに「ハロ-ワールド」と入力して、ボタンを押下するとメッセージボックスに「ハロ-ワールド」と表示されます。また、キーボードの「F1」キーを押下しても、同様にメッセージボックスが表示されます。



---

Biz/Designer DT  
開発スタートアップガイド

株式会社オープンストリーム